

ASEAN地域フォーラム（ASEAN Regional Forum: ARF）概要

1. 目的・特色

- (1) 政治・安全保障問題に関する対話と協力を通じ、アジア太平洋地域の安全保障環境を向上させることを目的としたフォーラムで、1994年から開催。
- (2) ASEANの中心性を重視する一連のフォーラム（ASEAN+3、EAS、ADMMプラス等）の中で最も歴史が長く、参加メンバーも多い（北朝鮮も参加）。
- (3) 信頼醸成の促進、予防外交の進展（注）、紛争へのアプローチの充実、という3段階のアプローチを設定して漸進的な進展を目指している。

注：＜ARFにおける予防外交の定義＞（第8回ARF閣僚会合資料より）

- 地域の平和・安定に対する脅威を引き起こしうる国家間の争い・衝突の予防を助けること。
- これらの争い・衝突が軍事的な対立に拡大することの防止を助けること。
- これらの争い・衝突が地域に及ぼす影響の最小化を助けること。

2. 参加メンバー

25か国+1地域+E.U.（開催年のASEAN議長国がARFでも議長を務める）

- ASEAN10か国（ブルネイ、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、シンガポール、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア）
- 非ASEAN15か国+1地域（日本、米国、カナダ、豪州、ニュージーランド、パプアニューギニア、韓国、北朝鮮、モンゴル、中国、ロシア、インド、パキスタン、東ティモール、バングラデシュ、スリランカ）
- E.U.（代表参加：E.U.外務・安保政策上級代表、欧州対外活動庁）

3. 構成

- (1) 毎年夏の閣僚会合（外相）を中心とする一連の会議の連続体として構成。
 - 閣僚会合（年1回）、SOM（高級事務レベル会合、局長級：年1回）、ISG（会期間支援グループ会合、課長級：年1回）
 - 5つの分野別ISM（会期間会合）（注）の他、各種セミナーも随時開催
- 注：災害救援、テロ対策・国境を越える犯罪対策、海上安全保障、不拡散・軍縮、サイバーセキュリティ
- (2) 別トラックの会議も継続的に開催され、ARF本体会合との連携を実施。
 - ARF専門家／賢人（EEP：Experts/Eminent Persons）会合（トラック1.5）
 - アジア太平洋安全保障協力会議（CSCAP）（トラック2）

（了）